

専大生2人含む日本が準優勝

チアリーディング世界選手権・ダンス部門



▲ダンス部門フリースタイル準優勝の日本チーム。左から2番目が大笠さん、右から3番目が小西さん(米フロリダで)

チアリーディングとダンスのワールドカップといわれる「ICUチアリーディング世界選手権2011」(4月28、29日、米フロリダで開催)に2人の専大生が出場、準優勝を果たした。
日本代表チームに選ばれた大笠絵美子さん(商3)と小西菜未さん(経営2)で、ダンス部門フリースタイルチアに16人出場。大笠さんは昨年も同部門に出場、2年続けて銀メダルを手にした。「ダンスを存分に楽しんでました」と喜びを語った。

ダンスに情熱ぶつけて

初めての挑戦となった小西さんは「チームメンバーと一緒に頑張っていいものを表現しました」と振り返った。
2人は、日本を代表するチアダンスチームであるICU大会の常連である「Dance for the PLANETS」(PLANNETS)に所属。京都大田区)に所属。



▲メダルを掲げる大笠さん(右)と小西さん(左)

月、世界選手権出場への地区予選で右足を骨折。けがを乗り越えて本戦に挑んだ。

優勝はチアの本場、アメリカチーム。「テクニクはアメリカが上かもしれないが、チーム音楽に合せて、全身で表現するチアダンスはリズム感・協調性・創造力が養われます。なによりもチームとしてのまとまり、表現力が大切」と大笠さん。「商学部では高橋ゼミ(高橋義仁准教授)に所属しています。大学の友人とほとんど交流できないのが残念。でもダンスが楽しくてたまらないし、いい仲間にも恵まれ幸せです」。情熱をぶつける場を、チアダンスに見いだした二人の笑顔がまぶしい。

大笠絵美子さん(商3)
小西菜未さん(経営2)

※ICU International Cheer Union(国際チア連合。世界80数カ国が加盟し、世界的なチアリーディングの発展と普及を目指す。アメリカ、ヨーロッパ、アジア、南アメリカなど各国と地域で大会を開催してICUチアリーディング世界選手権2011)は、73カ国が参加。チアダンス3部門(ジャズ・ヒップホップ・フリースタイルチア)すべてでアメリカチームが優勝、PLANNETS中心で構成された日本チームが準優勝。

第8回「海外留学・国際交流フェア」多彩に

留学OB・OGによる国際理解講座も

留学希望者や国際交流に興味をもつ学生たちの情報収集の場、留学生との交流の場となる第8回「海外留学・国際交流フェア」は、6月27日から7月9日まで生田キャンパスなどで開催された。

今回は留学OB・OGによる講演会、卒業生による国際理解講座などが初めて行われたほか、留学生による母国紹介、トーク&ディスカッション、留学帰国生による



▲OB・OG会総会で講演した伊東隆徳さん(平15経済)



▲留学帰国生による個別相談では、ブラス別に留学希望者の質問に応じた



▲留学OB・OG講演会で「留学のススメ」を講演するニリー美穂さん(平3文)



▲国際理解講座で「エチオピアでの援助活動」体験を語る濱名加枝子さん(平15経済)



▲1フロア貸切。歓声が沸いたボウリング大会

第24回専フィルサマーコンサート ～美しい旋律が聴衆を魅了～



▲指揮は米崎氏

専修大学フィルハーモニー「フィンランディア」、二管弦楽団による第24回サマーコンサートが6月24日、川崎市多摩市民会館大ホールで開かれた。カリンニコフ・交響曲第21番「悲劇」を指揮する米崎和氏が務めるカーテンコールに満席。指揮は国内外で活躍する米崎和氏が務めるカーテンコールに満席。指揮は国内外で活躍する米崎和氏が務めるカーテンコールに満席。指揮は国内外で活躍する米崎和氏が務めるカーテンコールに満席。

やさしい英語による経済学講座

国際交流センター主催・オコーナー客員教授による第148回特別講義「アイスランドの経済の現状」が6月18日、生田キャンパスで開催された。3回の講座では「アイスランドとEU・変貌するダブリン大学ユニヴァーシティカレッジ(アイスランド)のディアドレ」のアイスランドは、2006年まで順調な経済発展を続けていたが、ここ数年は経済が低迷してきた。それにもないEUとのかわりかどのように変化していったかを解説し、今後の展望について語った。